

校長挨拶

ようこそ、宮城県立山元支援学校のホームページへおいでいただき、ありがとうございます。

本校は、宮城県の最南端、気候も温暖な山元町にあり、独立行政法人国立病院機構宮城病院に隣接している病弱及び知的障害教育の併置校です。

さて、4月に入り、校門脇にある校木「かりん」の樹は、次々と黄緑色に芽吹き始めています。その色は生命の息吹を感じる素敵な色で、可能性をぎゅっと秘めたこれからの子供たちのようです。

平成29年度は、小学部5名、中学部17名、そして、高等部41名の総勢児童生徒60名と教職員56名でスタートいたしました。新たな出会いとともに、たくさんの笑顔と声が、この恵まれた学び舎で飛び交うこととなるでしょう。

私達教職員は、本校学校教育目標の「児童生徒一人一人の生命への畏敬の精神に基づき、個々の障害の状態及び能力や適正に応じて心身の調和的発達を助長し、健康で心豊かな児童生徒の育成に努める」ことを念頭に置き、校訓である【元気に】【仲良く】【一歩ずつ】を教育活動の中心に置き、一人一人の発達や実態に応じて心身の調和的発達を促し、健康で心豊かな児童生徒の育成に努めて参ります。

その目標達成に向けて、日々、一人一人の子供たちの笑顔を大切にしながら、学ぶ楽しさや意欲を引き出すための「仕掛け」を授業の中に設定をしてきます。また、コミュニケーションが困難な子供たちや体験の機会が限られている子供たちが、社会性を養う様々な学校行事や体験学習を通して、単元のねらいとともに個々の課題設定から、それぞれの「学び」にきちんと繋げていけるように指導・支援していきます。丁寧に一歩ずつ、生活や学習活動を通して、子供たちに豊かな経験を積み重ねていきます。

本校の強みである小中高一環教育のもと、山元支援学校教職員全員全力で教育に当たっていく所存です。

「子供たちの将来が幸せであるためには何が大事か」その視点を保護者の方と互いに共有しながらともに手を携え、山元支援学校教職員が一丸となって頑張ってもらいますので、本校の教育活動への温かいお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成29年4月吉日

宮城県立山元支援学校長 跡部 久美

